

実家はお茶屋ですが、父

には「好きな道を進みなさい」と言わっていました。

実は高校2年生まで文系。でも3年になって進路についてよく考えた末、医師なら年をとっても勉強し続けられる仕事だと新しい、医学部を目指しました。

金沢大の学生だった23歳ごろには、ネパールの僻地^{へきち}で約1カ月、医療の手伝いをしたことも。内科を目指したものこのころでした。

卒業後は古里の山口へ帰り、病院勤務などを経験。36歳の時、実家の近くに開業しました。

内科ならどんな症状も診

られるようになりたいです

ね。いい医療をするには、コツコツと勉強するしかない。

医院の宣伝にお金をかけます。歴史ある療法ですし、一般的の薬より副作用が少ないので。ただ漢方も奥が深いので、まだ道半ば

います。

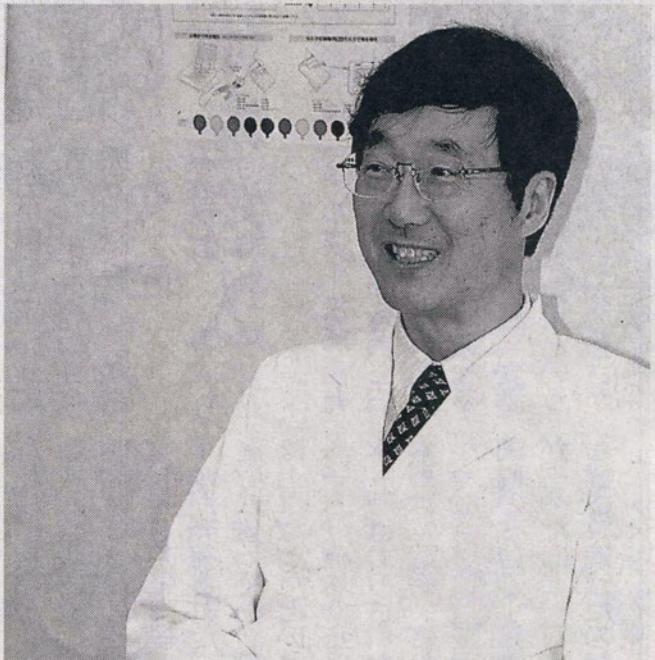
副作用少ない漢方薬追究

心がけているのは、薬の量をなるべく減らすこと。

ご近所のお医者さん

吉中博志さん(60)

■24



「地域に根ざした医療を志しています」と話す吉中医師

また体質にもますが、約10年前から患者さんに一生追究していくことを思はずね。

診察では、患者さんの話

【聞き手・藤沢美由紀】

「吉中内科医院」山陽小野田市住吉本町1の3の17。

勧めているのが漢方薬です。歴史ある療法ですし、一般的の薬より副作用が少ないので。ただ漢方も奥が深いので、まだ道半ば

く医者を続けていきたいで